

たたら製鉄とともに 歩んできたまち



たたられきしかいどう・よしだちょうとてつしたなべけ

たたら歴史街道・吉田町と鉄師田部家

平成29年度認定 / 島根県雲南市吉田町 / よしだ円卓会議

歴史の跡が色濃く残る街なみ。

うんなんしよしだちょう
雲南市吉田町は島根県の東部に位置し、南は中国山地を介して広島県に隣接する、特色ある歴史や文化を今に伝える町です。

出雲地方では、6世紀後半の製鉄遺跡が発見されており、鉄づくりに必要な良質の砂鉄や木炭の原料である山林が豊富にあることから、この後、鉄生産が盛んにおこなわれました。我が国で生まれて独自の

発展を遂げた製鉄法を「たたら製鉄」と呼びます。砂鉄と木炭により鉄を作り出すこの製鉄法は、古代から近代までこの地域を支え続けてきました。

16世紀初頭、戦国時代に^{あまごし}尼子氏が出雲地方を掌握すると、この地域は100年にわたり鉄や銀をめぐる争奪戦が繰り返られることとなります。1600年、関ヶ原の戦



菅谷たたら山内の中心にある「菅谷高殿」は全国で唯一現存する高殿様式です。

日本の ものづくり の原点を。



実際に「たたら操業」を体験できる「近代たたら操業体験」

を境に江戸時代に入り、銀山は幕府直轄領(天領)、鉄は松江藩の管轄となりました。

その頃、吉田町で「たたら製鉄」が大規模化し、松江藩鉄師頭取「^{まつえはんてつしとうどり たなべけ}田部家」が鉄山経営を担っていました。吉田町は田部家の「企業城下町」と呼ばれるほどに発展し、本町通りには鉄を加工する大鍛冶場や職人の長屋などが立ち並び、白壁の土蔵群が往時の面影を今に残します。吉田町菅谷地区には、1751年から170年の長きにわたって「たたら場」を構えて操業し、「^{すかや}菅谷たたら山内」(山内とは生産施設や製鉄従事者の居住地を含めた集落のこと)を形成しました。「菅谷たたら」は、操業当時の姿が全国で唯一現存し、国の重要有形民俗文化財に指定されています。

菅谷たたらの最盛期の鉄生産量は年間約290tにも及び、生産された鉄は^{みとやちょう}三刀屋町の栗谷へ馬で運ばれ、そこから川舟で^{あわだに}斐伊川を下り、田部家が所有する鉄泉丸、天祐丸

^{たいしゃまちうつりゅうこう}といった千石船により出雲市大社町宇龍港などから全国へと送られていきました。最盛期の江戸後半から明治にかけての時期には、出雲地方を含む中国地方のたたら製鉄による鉄生産量は、日本全国の8割以上を占めるほどになりました。

しかし、洋式の製鉄技術が入ってくると、たたら製鉄は徐々に衰退に向かい、菅谷たたらでは、1921年に燃やし続けた炉の炎を消しました。産業としてのたたら製鉄は途絶えたものの、原料砂鉄の採取跡地を棚田に再生し、燃料の木炭山林を永続的に循環利用するという、人と自然とが共生する持続可能な社会構造がこの地域に育まれてきました。

たたら製鉄と共に栄えた吉田の町並みや菅谷たたら山内は往時の面影を随所に残し、訪れた人々がゆっくりと流れる時を過ごすことが出来ます。

菅谷たたら山内には、世界で唯一残るたたら製鉄工場「高殿」があります。



吉田地区振興協議会
会長 錦織靖雄さん

吉田町は、松江藩鉄師頭取の田部家の企業城下町として栄えました。壮大な土蔵群、無電柱で整備された石畳の通りは往時を追想することができます。菅谷たたら山内には、世界で唯一残るたたら製鉄工場「高殿」があります。ここから約2キロに渡り岩盤の上を流れる清流があります。せせらぎを聞きながら散策してみませんか。



掛合の里まで約5km
 銀山街道赤名宿 P45 たかのまで約20km

- ① 菅谷川(竜宮溪谷)
- ② 菅谷たたら山内
- ③ たたら鍛冶工房
- ④ 鉄の未来科学館
- ⑤ 稲わら工房(観光案内所)
- ⑥ 田部家土蔵群
- ⑦ 山里かふえはしまん (ツーリズムの宿若槻屋)
- ⑧ 鉄の歴史博物館
- ⑨ 吉田公園
- ⑩ 道の駅「たたらば壺番地」



吉田公園
 吉田公園内にある六角堂には日本を代表する彫刻家「内藤伸」の作品「慈母観音像」(子安観音)が安置されています。この「慈母観音像」は昭和の仏像の中で最高と讃賞され、安産や子どもの成長を願う方々の参拝が多くあります。

山里かふえはしまん
 庄屋敷敷を改築し誕生した古民家カフェ。山里吉田町の新鮮な食材を使ったカラダにやさしい食事を提供しています。



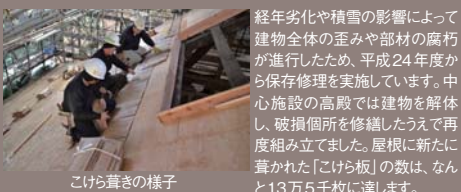
交通
 稲わら工房(観光案内所)まで道の駅たたらば壺番地から車で約5分
 道の駅掛合の里から車で約15分
 三刀屋木次ICから車で約20分
お問い合わせ
 雲南市産業観光部観光振興課
 ☎0854-40-1054

ぶらり歩いてみよう

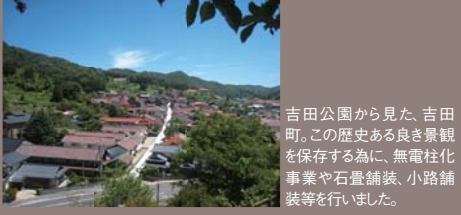
<p>① 菅谷川(竜宮溪谷) かつて鉄穴流しが行われた跡も見られます。整備され散策路として活用されていて、オオサンショウウオも生息する清流です。</p>	<p>② 菅谷たたら山内 国の重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」は、日本古来の製鉄法である「たたら製鉄」を支える人たちの集落でした。</p>	<p>④ 鉄の未来科学館 吉田町に残る「菅谷たたら製鉄炉の地下構造」と、イギリスの「オールドファーンニス」、日本初の洋式高炉「橋野高炉」の3つの大きな復元模型があります。</p>
<p>⑥ 田部家土蔵群 雲南市吉田町は、鉄山師「田部家」を中心に、たたら製鉄の町として栄えました。なまこ壁の美しい「田部家土蔵群」はその栄華を今に伝えます。</p>	<p>⑧ 鉄の歴史博物館 「たたら製鉄」に関する資料がたくさん展示されており、この地で生活してきた先人たちの息吹を感じることができます。</p>	<p>⑩ 道の駅「たたらば壺番地」 尾道松江線の松江自動車道「雲南吉田IC」に隣接する道の駅。吉田町からも近くて休憩などにも便利です。</p>

イベント・活動

国指定重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」の保存修理事業



街なみ景観保存整備事業 (H16~21)



みんなが集まる交流施設

吉田交流センター



子安観音祭



オススメ周辺情報

- 🍴 食の幸 ふる里屋
- 🌳 吉田グリーンシャワーの森
- 🌊 芦谷峡やまめの里
- 🌳 県立自然公園・龍頭八重滝

たたらば壺番地
 島根県雲南市吉田町吉田 4378-31
 TEL 0854-74-0018